

令和5年 7月10日

長野県知事 様

## 令和5年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

|                             |                             |                    |
|-----------------------------|-----------------------------|--------------------|
| 協定期間                        | 令和4年度から令和7年度                |                    |
| 会社名                         | 株式会社 本木建設                   |                    |
| 住所                          | 〒389-2254<br>長野県飯山市南町23番地10 |                    |
| 代表者名                        | 代表取締役 江口 秀行                 |                    |
| 業種                          | 製造業                         | 建設業                |
| 処理施設<br>所在地<br>(処理施設を有する場合) | 施設名                         | 所在地                |
|                             | 硫黄プラント                      | 飯山市大字旭字撫下3577番地他   |
| 担当部署                        | 工事部                         |                    |
| 担当者名                        | 常務取締役：綿貫 千晃 工事部環境責任者：島山 正則  |                    |
| 連絡先                         | TEL                         | 0269-62-3331       |
|                             | FAX                         | 0269-62-1266       |
|                             | 電子メールアドレス                   | info@kk-motoki.com |
| ホームページアドレス                  | http://www.moto-ken.biz/    |                    |

## 1 産業廃棄物3R実践方針

経営方針である「人を創り、暮らしを創り、地域を創る」を目指す為には、自然と調和した地域づくりと都市の再生、創意工夫と環境保全が基本となる。長野県と協定を締結し、資源の循環型社会形成のために、排出される産業廃棄物は自社及びリサイクル事業者での処理を常に検討し実行する。環境関連法令遵守のための社内研修・教育や環境パトロールを通じて事業者として環境保全に向けた社会貢献を意識して実行する。

## 2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

|                                     | R5年度目標値     | R4年度実績値     | R3年度実績値     | R2年度実績値     |
|-------------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 総排出量の推移<br>(t・kg・m <sup>3</sup> )   | 2,000       | 1,432       | 1,100       | 2,756       |
| リサイクル量の推移<br>(t・kg・m <sup>3</sup> ) | 1,500       | 1,270       | 948         | 2,568       |
| 売上高の推移<br>(円)                       | 105,000,000 | 101,000,000 | 100,000,000 | 103,800,000 |

### 3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

1. 地元地区へ施設の稼働状況等について8月に報告すると共に、要望があった場合は施設公開、現場見学もできる体制を整える。
2. 社内全体会議にて産業廃棄物排出量削減とリサイクルについて議題を設け、社員の意識向上を目指す。
3. 社内パトロール時に環境保全の取り組みについて、現状確認し社内の環境意識・認識を共有する。
4. 作業現場はもとより、各施設における排出物の分別・保管意識を高める。
5. 自社処理廃棄物もマニフェストを発行し、トラックスケールにて重量測定を行い、保管にあたっては、法令を遵守し、掲示板を見やすい場所に設置する。
6. 受け入れ廃材に混合物があった場合は、直ちに排出事業者へ連絡を入れ、状況確認をしてもらい、適正な処分・処理を行う。
7. エコアクション21環境経営システムの運用と管理・維持に努める
8. SDGs に対する、積極的な取り組みに努める。

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
  - ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
  - ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
  - ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
  - ・従業員教育（研修）計画
  - ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
  - ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
  - ・不適正処理を発見した場合の協力体制
  - ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
  - ・独自に取り組む事項
- 代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

### 4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

| 製品（材料）種別    | 当年度目標値       | 過年度実績値       |              |              |
|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|             | 令和5年度<br>目標値 | 令和4年度<br>実績値 | 令和3年度<br>実績値 | 令和2年度<br>実績値 |
| RC40埋戻材・路盤材 | 100          | 100          | 100          | 100          |
|             |              |              |              |              |
|             |              |              |              |              |
|             |              |              |              |              |
| 全体          | 100          | 100          | 100          | 100          |